

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	272501529		
法人名	社会福祉法人美土里会		
事業所名	美土里荘グループホーム様		
所在地 (電話番号)	〒039-2504 青森県上北郡七戸町字寒水70番地1 (電話) 0176-62-5221		
評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成 20年 10月 15日	評価確定日	平成 20年 12月 9日

【情報提供票より】(平成 20年 9月 28日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 18年 1月 1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	15 人	常勤	13人, 非常勤 2人, 常勤換算 14.5人

(2) 建物概要

建物構造	木造平屋 造り		
	1 階建ての	階 ~	1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	21,000 ~ 27,000 円	その他の経費(月額)	9,600 ~ 冬期14,400 円
敷金	有() 円 (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有() 円	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 950 円		

(4) 利用者の概要(9月 28日現在)

利用者人数	18 名	男性	1 名	女性	17 名
要介護1	1 名	要介護2	7 名		
要介護3	7 名	要介護4	1 名		
要介護5	1 名	要支援2	1 名		
年齢	平均 85 歳	最低	66 歳	最高	97 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	公立七戸病院・医療法人柏葉医院
---------	-----------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>四季を感じさせる山林に囲まれ、近くには地域の方々の住宅もある。同じ法人に特別養護老人ホーム、デイサービスがあり、同じ敷地内にグループホームがある。外部への行事参加を通じて地域の方々と交流が図られ、地域の協力関係につながっている。入居者の表情が穏やかで、職員も生き生きとした表情をしていることから、全職員が理念に基づく統一したケアを行っていることが感じられた。</p>
--

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>スキルアップに向けて、新人研修をはじめ4年目の研修や外部研修などに積極的に参加し、今後も継続し質の向上に取り組みを期待したい。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>評価での課題を職員に投げかけると自分達で資料など集めたり、分らない時は管理者に聞いたり、関心をいだいて取り組んでいる。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>二ヶ月に一回開催し、近況報告などを行っている。また、気軽な意見交換から課題を見出し、検討し、ホームの運営に反映させている。</p>
	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10, 11)</p> <p>家族からも遠慮なく声を掛けてもらっている。今後も家族が安心してスタッフに任せられ、本人も安心した生活が出来るように支援して欲しい。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>ホーム内での行事やホーム外でのイベント(秋祭り、三社見学)などへの参加を通じ、地域の方々に入居者や職員を覚えてもらっている。デイサービスの利用者や職員の知り合いの方が、ホームに出向いて野菜などを差し入れしてくれることもある。</p>

2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	法人理事長の信念である「忠恕の心」を基本理念とし、職員全員も同じ思いである。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	基本理念を4月の辞令交付時などに説明したり、フロアー掲示をしたりしている。また、職員全員で「真心を持ったケア」を心掛け実践している。		
2. 地域との支えあい					
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一人として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	ホーム内での行事やホーム外でのイベント(秋祭り、三社見学)などへの参加を通じ、地域の方々に入居者や職員を覚えてもらっている。デイサービスの利用者や職員の知り合いの方が、ホームに出向いて野菜などを差し入れしてくれることもある。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	5	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>外部評価での課題について職員からの意見は、中々発言ないが、課題を投げかけると自分達で資料など集めたり分らない時は、管理者に聞くなどしている。関心をいだいて取り組んでいる。</p>		
5	6	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>二ヶ月に一回開催し、近況報告などを行っている。また、気軽な意見交換から課題を見出し、検討し、ホームの運営に反映させている。</p>		
6	7	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>不明点などあれば、その都度市町村の担当者と密に連絡とり情報をえている。</p>		
7	8	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>現在のところ、管理者のみが理解しているが、今後勉強会などで全職員に周知していく予定である。</p>		<p>権利擁護についての勉強会や研修の機会を持つことを期待します。家族から相談を受けた際には、市町村に相談窓口があることを情報として伝えてはどうか。</p>
8	9	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>虐待についてのマニュアルはないが、普段から日々の対応について職員間で話し合い、注意し合っている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
9	10	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時に重要事項説明書をもとに管理者が説明している。また、管理者不在時でも職員が分かる範囲内で対応し、詳細については後日、管理者より連絡している。</p>		
10	12	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>	<p>各担当が様子を書いた手紙と金銭管理コピーを同封し、家族へ郵送している。また、面会時には状態を報告しているほか、必要に応じて電話連絡している。</p>		
11	13	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>面会時などに要望を受けたり、家族アンケートに回答してもらったりして、サービスの向上に努めている。</p>		<p>家族からの要望に対して会議で具体的案を検討し、さらにサービスの向上に努めていくことを期待します。</p>
12	16	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>異動時には、利用者に影響がないように前担当のフォローや確認のもと、必ず引継ぎの期間を設けている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
13	17	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	新人研修や4年目の研修を実施している。その他にも外部研修参加も勧めており、質の向上に向け取り組んでいる。		
14	18	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	全国の事業所が集結する事例研究検討会(アクセス)に参加し、課題となっている点などについて意見交換・情報交換している。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
15	23	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居者の事前訪問や見学などの際に、馴染みの品物の持ち込みについて説明し、働きかけている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
16	24	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者に茶碗拭きやテーブル拭きをしてもらったり、おやつ作りを教えてもらったりするなど、お互いに支え合う関係を築いている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
17	30	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の利用者との会話の中から、思いや意向を見出したり、家族からも聞き取りしたりして、本人の意向にそえるよう支援している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
18	33	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者が安全で、安心して、その人らしく生活できるように利用者・家族と要望を含めて話し合い、介護計画を作成している。		
19	34	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	6ヶ月毎に見直しをしている。また、本人の状態に合わせて、変更が必要な際は、その都度家族と話し合い、同意を得た上で、実施している。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
20	36	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	病院の受診の付き添いや送迎、買い物など要望に応じて柔軟に対応している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
21	40	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>本人と家族の意向を大切に、入居後もかかりつけ医での受診となっているが、精神科受診については、決められた病院である。嘱託医の往診がある。</p>		
22	44	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>グループホーム内には看護師の在籍は無く、緊急時はすぐ病院へ受診している。現状は終末ケアはなく、家族へは口頭による説明だけである。</p>		<p>口頭だけでなく重要事項説明書の中に記載し、説明することを期待します。</p>
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
23	47	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>個人情報となる書類は事務所で管理している。職員の声掛けもトイレ誘導時には耳元でさりげなく伝えるなど配慮している。</p>		
24	49	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>三大介護(食事、排泄、入浴)においても常に利用者本意に考えて支援している。その日の天候に左右されるものの散歩や買い物したいといった希望には柔軟に対応している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>母体施設の栄養士が作成した献立をもとに、利用者の好みや頂いた野菜をメニューに加えている。食事の準備をしていなかったが、片づけを自分の役割として率先して行っていた。</p>		
26	54	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>その日の体調や本人の要望に合わせて入浴日や時間を変更している。また、必要に応じて足浴、清拭をしている。</p>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>それぞれの能力に応じた役割分担(茶碗拭き、テーブル拭き、洗濯物干し)があり、利用者の生き生きしている表情が見られた。</p>		
28	58	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>本人の要望に耳を傾け、様子に目配りし、希望にそって買い物や散歩に出かけている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
29	62	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>現在、身体拘束している利用者はおらず、また身体拘束は絶対にやらないという事を基本とし、職員に周知徹底している。</p>		<p>今後も継続して勉強会など開催することを期待したい。</p>
30	63	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p>日中は鍵をかけていない。職員は本人の行動など確認しながら、外に出たそうにしている際は、さりげなく声掛けしたり、散歩をしたりして対応している。</p>		
31	68	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>昼夜を問わず避難訓練を実施している。また、日中の避難訓練では地域との連携を図っており、連絡できるような体制になっている。</p>		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
32	74	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>栄養士による献立メニューがあり、栄養バランスは安定している。食事、水分量もチェックしている。</p>		
33	75	<p>感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>	<p>マニュアル等を作成しており、いつでもスタッフが確認出来る様に事務所に置いている。また委員会が主催して勉強会を行っている。基本となる食前、食後の手洗い消毒を徹底している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p> <p>(1) 居心地のよい環境づくり</p>					
		居心地のよい共用空間づくり			
34	78	共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節に見合った装飾を利用者と一緒に作成し、掲示している。		
35	80	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家族に依頼して湯のみ茶碗、箸など使い慣れた物を持参してもらい、使用している。家具なども馴染みの使い慣れた物を持ち込み、居心地よく過ごせるよう配慮している。		

 は、重点項目。